

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年5月15日
【事業年度】	第26期（自平成23年7月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社フュージョンパートナー
【英訳名】	Fusion Partners Co.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田村 健三
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目22番3号
【電話番号】	03-6418-3898
【事務連絡者氏名】	経営管理本部長 南 陽子
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目22番3号
【電話番号】	03-6418-3898
【事務連絡者氏名】	経営管理本部長 南 陽子
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年9月27日に提出した第26期（自平成23年7月1日至平成24年6月30日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

(1) 連結経営指標等

第5 経理の状況

2 監査証明について

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結包括利益計算書

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(訂正前)

回次 決算年月	第22期 平成20年6月	第23期 平成21年6月	第24期 平成22年6月	第25期 平成23年6月	第26期 平成24年6月
売上高 (千円)	1,823,538	1,501,496	1,228,384	1,350,806	1,669,682
経常利益 (千円)	16,060	108,474	127,446	211,055	263,325
当期純利益又は当期純損失 (千円)	683,825	245,347	152,326	135,846	174,869
包括利益 (千円)	-	-	-	144,242	<u>182,270</u>
純資産額 (千円)	981,320	1,153,043	1,232,773	1,379,874	1,477,314
総資産額 (千円)	1,231,974	1,283,075	1,409,777	1,722,711	1,811,983
1株当たり純資産額 (円)	7,051.33	8,405.58	9,153.62	9,879.11	10,576.73
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額 (円)	4,997.34	1,788.56	1,120.35	988.19	1,251.96
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	78.5	89.9	87.4	80.1	81.5
自己資本利益率 (%)	-	23.1	12.8	10.4	12.2
株価収益率 (倍)	-	6.5	15.8	14.5	11.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	28,690	180,224	238,469	74,186	376,342
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	72,072	8,480	33,688	172,683	17,430
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	12,698	7,699	71,154	184,939	120,366
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	313,522	494,528	695,532	633,601	907,007
従業員数 [外、平均臨時雇用者数] (人)	75 [7]	54 [7]	53 [9]	75 [10]	89 [6]

(注)(省略)

(訂正後)

回次 決算年月	第22期 平成20年6月	第23期 平成21年6月	第24期 平成22年6月	第25期 平成23年6月	第26期 平成24年6月
売上高 (千円)	1,823,538	1,501,496	1,228,384	1,350,806	1,669,682
経常利益 (千円)	16,060	108,474	127,446	211,055	263,325
当期純利益又は当期純損失 (千円)	683,825	245,347	152,326	135,846	174,869
包括利益 (千円)	-	-	-	144,242	174,262
純資産額 (千円)	981,320	1,153,043	1,232,773	1,379,874	1,477,314
総資産額 (千円)	1,231,974	1,283,075	1,409,777	1,722,711	1,811,983
1株当たり純資産額 (円)	7,051.33	8,405.58	9,153.62	9,879.11	10,576.73
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額 (円)	4,997.34	1,788.56	1,120.35	988.19	1,251.96
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	78.5	89.9	87.4	80.1	81.5
自己資本利益率 (%)	-	23.1	12.8	10.4	12.2
株価収益率 (倍)	-	6.5	15.8	14.5	11.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	28,690	180,224	238,469	74,186	376,342
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	72,072	8,480	33,688	172,683	17,430
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	12,698	7,699	71,154	184,939	120,366
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	313,522	494,528	695,532	633,601	907,007
従業員数 [外、平均臨時雇用者数] (人)	75 [7]	54 [7]	53 [9]	75 [10]	89 [6]

(注)(省略)

第5【経理の状況】

2 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、連結会計年度(平成23年7月1日から平成24年6月30日まで)の連結財務諸表及び事業年度(平成23年7月1日から平成24年6月30日まで)の財務諸表について、太陽ASG有限責任監査法人により監査を受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、連結会計年度(平成23年7月1日から平成24年6月30日まで)の連結財務諸表及び事業年度(平成23年7月1日から平成24年6月30日まで)の財務諸表について、太陽ASG有限責任監査法人により監査を受けております。

なお、金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき、有価証券報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の連結財務諸表について、太陽ASG有限責任監査法人により監査を受けております。

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【連結損益計算書及び連結包括利益計算書】

【連結包括利益計算書】

(訂正前)

	前連結会計年度 (自平成22年7月1日 至平成23年6月30日)	当連結会計年度 (自平成23年7月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前当期純利益	136,234	174,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,008	7,401
その他の包括利益合計	8,008	7,401
包括利益	144,242	182,270
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	143,854	182,270
少数株主に係る包括利益	387	-

(訂正後)

	前連結会計年度 (自平成22年7月1日 至平成23年6月30日)	当連結会計年度 (自平成23年7月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前当期純利益	136,234	174,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,008	606
その他の包括利益合計	8,008	606
包括利益	144,242	174,262
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	143,854	174,262
少数株主に係る包括利益	387	-

【注記事項】

(連結包括利益計算書関係)

当連結会計年度(自平成23年7月1日至平成24年6月30日)

その他の包括利益に係る組換調整額及び税効果額

(訂正前)

その他有価証券評価差額金：	
当期発生額	11,500千円
組替調整額	-
税効果調整前	11,500
税効果額	4,098
その他有価証券評価差額金	7,401
その他の包括利益合計	7,401

(訂正後)

その他有価証券評価差額金：	
当期発生額	2,000千円
組替調整額	-
税効果調整前	2,000
税効果額	1,393
その他有価証券評価差額金	606
その他の包括利益合計	606

独立監査人の監査報告書

平成25年5月15日

株式会社フュージョンパートナー
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 荒井 巖

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池田 哲雄

<財務諸表監査>

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社フュージョンパートナーの平成23年7月1日から平成24年6月30日までの連結会計年度の訂正報告書の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項、その他の注記及び連結附属明細表について監査を行った。

連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社フュージョンパートナー及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

その他の事項

有価証券報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の連結財務諸表に対して平成24年9月27日に監査報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 1 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
- 2 連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

